

大阪市教

2014年6月5日
VOL. 504

発行 大阪市学校園教職員組合
大阪府中央区法門坂1-1-35(大阪市教育会館内)
TEL 6910-8700 FAX 6910-7990



青年が青年に声をかけ とりくみが進む、仲間が増えた

第26回
定期大会

大阪市教は5月24日第26回定期大会を開催。青年7人が討論で「先輩の支えの上で青年が手探りしながら、どんどん進んでいる」(感想文から)姿を語り、大阪市教には未来があると、参加者を励ました。

討論には18名が参加し、会場は熱気にあふれました。

青年部の吉岡さんは谷川俊太郎さんを招いたしんかんフェスタの成功は、「先輩、青年の協力が生み出したもの」と、つながりの大切さを強調しました。

西大阪の中林さんは青年の交流「しゃべり場」の取り組み



な取り組みの大切さをアピールしました。

幼稚園部は、大阪市立幼稚園民営化反対の署名が25万筆も集まったことについて発言。学校の事務職員が減り、教職員の負担が増大していることを指摘し、事務職員を適切に配置すべきと述べました。

事務職員部は就学援助加配の問題について発言。学校の事務職員が減り、教職員の負担が増大していることを指摘し、事務職員を適切に配置すべきと述べました。

女性部は「ママ友会議等を通して、青年教職員の出産・子育てをサポートすること、障害児教育

に乏しいこと、市教委が養護教諭にアレルギー問題等、負担を押し付けている実態にふれ、「中学校は給食を実施するための施設が十分ではない。改善してほしい」と述べました。

市労組連 市民との共同でくらしを守り 働きがいのある大阪市に

市労組連は5月28日第25回定期大会を



開催しました。「戦争する国」「大阪都」構想を許さない取り組み、労働組合事務所撤去通告や思想調査アンケートによる人権侵害に対し、憲法違反の「政治活動制限条例」「労使関係条例」撤廃に向けた取り組み、組合事務所に係る大阪府労働委員会への不当労働行為の認定など、たたかひの前進で思想調査裁判の勝利を勝ち取ることを決定しました。

市労組連は27日、市民・維新が提案し可決した「憲法改正の早期実現を求める意見書」に抗議する宣伝行動を行ないました(写真)。



部からは、障害児教育の充実のためには「設置基準を策定する必要があり」と発言がありました。

評価育成システムで不当評価を受けた青年が、先輩と苦情処理の闘いをする中

よくする会 維新政治で子どもと教育は プレシンポ開催 市民のつどい

大阪市をよくする会主催の「維新政治が子どもに何をもちよらしたのか 教育・子育てシンポジウム」が6月1日開かれ、保育、教育(幼・小・中・高・特別支援)、就学援助、地域子育てネット関係者、保護者30人が、大阪市の子どもと教育を語り合いました。

よくする会は「教育・子育てを考えると、大阪市民のつどい(仮称)を9月23日に住まいの情報センターで開催を予定し、「大阪都」構想、維新政治では「子どもが笑う大阪」にならぬことを明らかにし、子ども、市民が願う街づくり、教育を進めることを呼び掛けました。

問題提起をした中山徹奈良女子大学教授は、「大阪都」構想の本質を市民に伝えること、「大阪都」構想に変わる構想を市民に示すこと、

「賃金カットで生活が苦しい上に、相対評価で、職場では不満の声が広がっている。なんでも数値化して評価すること、労働強化になる」などの発言がありました。

市労組連は27日、市民・維新が提案し可決した「憲法改正の早期実現を求める意見書」に抗議する宣伝行動を行ないました(写真)。



外田書記長が報告
11月6日

で組合に入った値打ちを実感したこと、臨時教職員部からは、「市教の採用試験突破講座のおかげで合格できた。家族のように接していただき、感謝の気持ちでいっぱい」との発言がありました。

東南海支部の前田さんは、開口一番、「大阪市教の一人として、これまで教育実践ができたことが大きな誇り」と述べました。給与改定・差額の支給は、「粘り強く組合が闘った成果」と強調。研究授業の押し付け、評価育成システム、運営に関する計画の数値目標、土曜授業等、課題は山積している。「大阪市教の値打ちを示し、橋下維新の暴挙を許さない闘いを粘り強く進める」と述べました。

と、維新の会を破る主体形成、民主的陣営と地域をまじめに考える保守層の共同を進めることの重要性を指摘しました。

保育の分野からは1歳児5人に対して職員1人から6人に1人に基準が引き下げられたこと、今まで公立と社会福祉法人だけだった認可保育園に企業が14年度9か所参入、公立保育所民間移管(民営化)が13年5か所、14年12か所が発表されていることが報告されました。

保護者の立場から学校選択制への否定的な意見が多いこと、中学校給食では子どもたちが圧倒的に「おいしくない」と言っていること、おかずが冷たく残し放題で、これで食育はできない、これ以上公立幼稚園を減らしたら幼稚園浪人に



府労組連定期大会
11月5日

府労組連は5月29日、生涯ハケン・職業訪問者による組合員が拡大したことを報告しました。

府労組連決起集会
6月13日(金) 19時
エルおおさか南館
6月20日(金) 16時半
教育塔前広場

府労組連 賃上げ実現の闘いに確信 講師の「空白の1日」解消を

府労組連第26回定期大会が5月29日に行われました。全員要求署名、民間労働者との共同、決起集会などの取り組みを行い、賃上げの実施、カットの圧縮など情勢を切り開いたと、たたかひを振り返りました。「戦争する国づく

り、生涯ハケン・職業訪問者による組合員が拡大したことを報告しました。大阪市の賃金の引き上げなど働くルール確立をめざすこと、当面、夏季要求実現に全力をあげることを確認し、方針を採択しました。

発言では、大教組から、臨時教職員を大量採用している大阪で「1日の空白があっても被保険者資格を喪失させない」取り組みの一刻も早い対応が必要と、署名行動を含めた訴えがありました。府職労は、府労組連のたたかひの正しさを確

退職された皆さんを囲む会 長い間ご苦勞様でした



退職された皆さんを囲む会を5月30日パル法円坂で開催しました。退職者の皆さんから「職場に大阪市教の組合員がおられ、定年まで働けました」「組合のお役に立てることがあればやりたい」とのお話がありました。